

# 三年学年だより

No. 1 4月号

令和4年4月発行

3年学年主任

34期生の高校生活最終章、素直であれ。

今年の校庭の桜も3月末から咲きはじめ、4月頭には満開を迎えました。君たちがこれを読むころには、すっかり葉桜になっているかもしれませんが、今は桜吹雪がとてもきれいです。

君たち34期生の高校生活最終章のスタートです。君たちが中央高校で学んだたくさんのことを卒業後に君たちが参加する社会で表現する。その瞬間まであと1年になりました。その瞬間を迎えるまでに君たちが身に付けなければならないことはまだまだたくさんあります。今年4月1日から民法の一部改正により、成人年齢が20歳から18歳に引き下げられました。明治時代から続いた「大人は20歳から」が「18歳から」に変わったことにより君たちに課される責任は以前に比べ大きくなっています。その詳細はここでは省略させていただきます。君たちはこれまでの「高校卒業後は大人扱い」から「高校在学中から大人」と変わるようになるわけです。高校卒業直後に社会から求められるものもこれまでとは明らかに変わるようになるでしょう。私自身も大人になる君たちと大人としての対応をしなくてはと思っています。

さて、今年度の君たちの最大の使命は、なんといっても進路実現です。そのために日々の生活を大切に、一步一步着実に成長していかなければなりません。君たちの夢は、研究し、努力し、保護者の方や担任の先生と話をすることにより、目標が変わります。夢を夢のままで終わらせるわけにはいきません。新年度のスタートにあたって、まずはしっかりとした目標にすること（目標であることを再確認すること）が大切です。そしてその目標を達成するために、さらに研究し、努力し、保護者の方や担任の先生と話をすること。この繰り返しが目標達成の大きな近道になります。その繰り返しの中で、壁にぶつかるときもある。そのときに周囲から、アドバイスをいただくときもあるでしょう。その中には自分の意に反することや、そうは思っているけれども思い通りにならないこと、そのようなことも一度や二度は必ずあります。それも君たちの成長を願っていることばです。そこで素直になること。そうすることが君たちを大きく成長させることとなるでしょう。

「成長するときは、困難や失敗の後。批判は成長をさせてくれる。でも批判する人は成長しない。批判する人は自分の成長をなげうってまで周囲を成長させてくれる人。」サッカー日本代表がオーストラリアに勝ち、ワールドカップ出場を決めた夜、解説の岡田武史氏がいったことばです。ことばを変え、君たちに送ります。「成長するときは、挑戦や努力による汗と涙を流した後。君たちへのことばは君たちを成長させてくれる。それに対して、言い訳をする人、周囲のせいにする人は成長しない。そのような人は自分の成長をなげうっている人。」家族からのことば、担任の先生からのことば、友人からのことば、君たちに向けられるたくさんのことばを大切にしてください。そのことばがたとえ意に反するものでも、素直な気持ちでその言葉を聞きましょう。そしてその言葉の意味を考えましょう。さあ皆さん。受験生ですね。頑張ってください。私の経験でいうと、君たちとともに頑張る家族も受験生。とともに頑張る先生方も受験生。そのように君たちを思い、ともに進む人が周囲にはたくさんいます。その人たちの思いを大切に。素直であれ。